

# メルマガ「とちぎ通信」 2021年夏号（第32号）

## ■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

### ＜本県とゆかりのある選手＞

東京2020大会では、本県とゆかりのある16名の選手が活躍しました。下野市出身の高藤直寿選手は柔道男子60キロ級で、今大会、日本選手団初の金メダルを、小山市にある白鷗大学出身の林咲希選手はバスケットボール女子で銀メダルを獲得しました。選手の方々の御活躍は栃木県民として誇らしく、元気をもらいました。ありがとうございました！

水泳（競泳）	萩野公介 選手
〃	水沼尚輝 選手
水泳（飛び込み）	榎本遼香 選手
バスケットボール男子	比江島慎 選手
バスケットボール女子	林咲希 選手
自転車（ロード）	増田成幸 選手
ホッケー男子	大橋雅貴 選手
〃	落合大将 選手
〃	霧下義貴 選手
〃	村田和麻 選手
ホッケー女子	狐塚美樹 選手
柔道	高藤直寿 選手
クレー射撃	石原奈央子 選手
〃	中山由起枝 選手
スポーツクライミング	檜崎智亜 選手

## ■海外ビジネスチャレンジ塾

県では、これから食品の輸出を目指したい企業、食品の輸出に取り組みはじめて間もない企業の海外展開を支援するため、輸出の基礎から実際の商談まで一貫してサポートする実践型連続講座を開催しています。中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザーの中正宏講師によるセミナーを6月から計3回開催し、県内企業18社が参加しました。

参加者は、第1回セミナーの「輸出基礎編」で輸出の基本的な流れや戦略の立案方法を、第2回セミナーの「商品PR編」でマーケティングやブランディング、動画作成等について学びました。第3回セミナーの「商談編」では、1社あたり1時間程度の模

### ＜ハンガリー代表選手団＞

栃木県は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるハンガリーのホストタウンとなり、テコンドー代表選手団および陸上競技代表選手団が本県で直前キャンプを実施しました。7月12日にはテコンドー代表選手団を、7月22日には陸上競技代表選手団を福田知事がオンラインで激励しました。県内の中高生も同席し、選手団へ応援メッセージや質問を投げかけるなどのオンライン交流を行いました。



▲テコンドー代表選手団と記念撮影をする福田知事と生徒



▲陸上競技代表選手団と記念撮影をする福田知事と生徒

擬商談（講師からのフィードバックを含む）を行い、実際の商談スキルを磨く機会となりました。参加企業は、12月に開催される国内輸出商社との商談会で、これまでに習得した知識を実践し、海外販路の開拓にチャレンジします。



▲セミナー会場の様子

※新型コロナウイルス感染防止対策として、会場とオンラインどちらでも参加できるよう実施しました。

## ■編集者の食べ歩き紹介

日本では連日蒸し暑い日が続いていますが、とちぎびとの皆様はいかがお過ごしでしょうか？今回は暑い夏にぴったりの栃木のひんやりスイーツを2つご紹介します！

### ◇日光天然氷 松月氷室(しょうげつひむろ)



明治27年から続く老舗「松月氷室」は、遠方からも多くの観光客が訪れる超有名店。氷室直営なので、一年中天然氷（山の湧水を氷池に引き入れ、真冬の寒さを利用してゆっくりと自然の中でつくられる氷）のかき氷が味わえます。

人気NO.1は「生いちごプレミアム」。フワッフワのかき氷の上に、地元産の苺を使用したシロップがたっぷり。真冬の寒さを利用してできる天然氷は頭がキーンと痛くならず、口の中でスッと溶けます。苺は自然の甘味と酸味があり、上に乗っているクリームも軽やかで相性バツグン！見た目は綿あめのようにふんわりと大きくボリュームミーですが、繊細なかき氷は口に入れると一瞬でなくなってしまいうのでペロリと食べられます♪

### ◇あしかがフラワーパークの藤ソフト

足利市を代表する観光スポット「あしかがフラワーパーク」内限定で食べられるご当地ソフトクリーム「藤ソフト」。淡い紫色がまさに藤の色で、ほんのりお花の香りがします。園内のお花をバックに撮るとフォトジェニック！色合いのせいか、ラベンダーのようなフレーバー…？爽やかな甘さで優しい味でした。綺麗な花と美味しいアイスに癒されます◎



## ■県内における新型コロナウイルス感染症の現状

本県の新規感染者数および全療養者数は短期間で急増し、8月19日には過去最多となる273名の新規感染者数を確認する等、危機的な状況にあります。医療提供体制への負荷が高まっていることなどを踏まえ、国から栃木県全域を対象に緊急事態宣言(8/20-9/12)が発令されました。不要不急の外出自粛や飲食店の営業時間短縮などを要請しています。

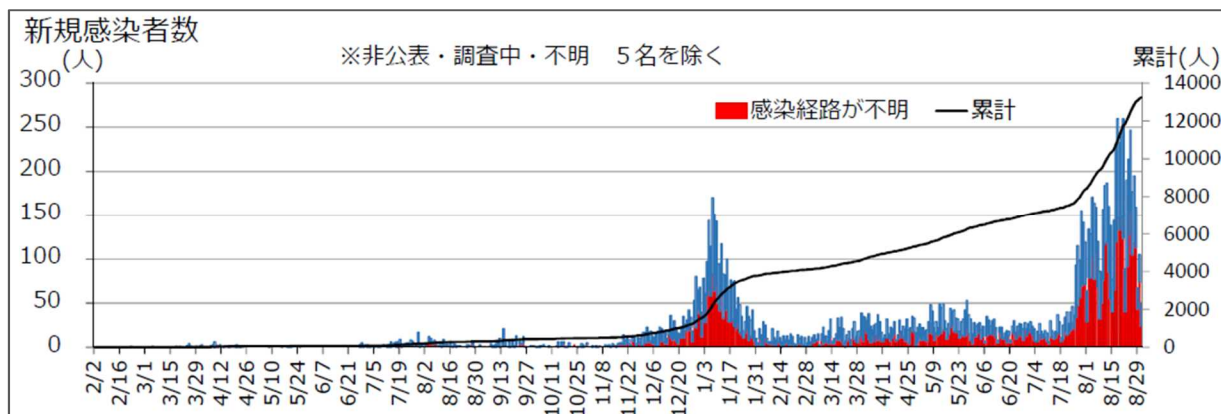
本県におけるワクチン接種は、4月より高齢者(65歳以上)を対象として実施しており、6月16日に「と

ちぎワクチン接種センター」を開設し、現在、18歳以上の県民を対象に接種を順次進めているところです。

今回の第5波は、今年1月の第3波を超える感染拡大となり、再びステイホームの夏となりましたが、一人一人が感染防止対策の徹底を続けることが何よりも大切です。とちぎびとの皆様におかれましても、引き続きご自愛ください。

<リンク先> 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c05/kouhou/korona.html>



## 世界で活躍する 「とちぎびと」の ご紹介

世界で活躍する「とちぎびと」の皆さまを紹介させていただくこのコーナー。今回は、ベトナム・ホーチミン市に所在する「ホーチミン栃木県人会」の稲葉健人様に、同県人会の活動について執筆いただきました。稲葉様、ありがとうございました。ホーチミン栃木県人会の皆さまのますますの御活躍を期待しています。※掲載を希望される皆さまからの御連絡をお待ちしています！

### ホーチミン栃木県人会

事務局 稲葉健人

ベトナム最大の商業都市のホーチミン市。タンソンニャット国際空港に到着し、タラップを降りるとカラッとした暑さのお出迎えと鼻の奥底を突き抜けるアジアの成長の匂いを感じる。さて、“栃木県とベトナム”の関係を見てみると、ハノイ市やダナン市が強いイメージで刷り込まれている栃木県民も多いのでは無いだろうか。実は、ベトナム全国から働きに出る「人」、多くの先端な「もの」、アジア金融の中心シンガポールと連携したブロックチェーン開発など「情報」も集まっているのがホーチミン市です。



▲ホーチミン市の様子

ホーチミン栃木県人会は、最近の在外県人会と同じく駐在員や短期出張者などビジネスを理由にしている会員が多く、ホーチミン市自体のビジネススピードが早いためか、日本本社から若手が送り込まれることが多く、会員に若手が多いのも当会の特徴です。

そんな、経済成長真っ只中で、五輪戦士のように活躍しています。例え話があります。

日本人は「ボクシング」をしている。階級やルールが決まった枠の中では最強なのである。

しかし、アジアでのビジネスは「プロレス」なのかもしれません。もしかしたら相手は審判を買収しているかもしれないし、反則技だって使ってもいい。最後に残った強いものが勝者なのである。

話を置き換えれば、今までは日本国内で日本のライバルとだけ戦っていれば良かったが、アジアに出ると敵は中国や韓国など群勢をなして責め立てている。そんな状態です。2017年に5人から始まった栃木県人会も、会員数も70名、出張者も含めた述べ参加者も1000人を優に超えた。数多くの栃木県民が、あらゆる分野

で日本からは見ることのできないビジネスのリングの上で戦っています。そんな中で、栃木のインバウンド施策を見ていると、ベトナム人限定で考えれば、少し的外れさを感じてしまいます。ホーチミン栃木県人会としても、栃木の良さをもっと正確に発信していきたいです。

さて現在、コロナウイルス第4波の影響で、ホーチミン市はロックダウン中です。医療崩壊、食料品の買い出しも週2回チケット制と戦争中のような状態です。毎月開催していた懇親会も3月以来開催されておりません。また、日本へ一時帰国しベトナムに入国できない状態やベトナムから出国できない状態が続いております。早く往来ができることを祈っております。

また、Facebook ページで懇親会情報等を発信しています。次回開催は未定ですが、国としても若い国を感じにホーチミン市に来て欲しいです。当会は、在住者はもちろん、旅行者、出張者大歓迎です。一声いただけると幸いです。(文責:ホーチミン栃木県人会事務局 稲葉健人)



▲懇親会の様子



ホーチミン栃木県人会

設立: 2017年6月9日

所在地: ホーチミン市

会長: 岡部 (小山市出身)

事務局: 稲葉 (那須町出身)

会員数: 70名